



市議会だより



平成十九年 第一回 三豊市議会定例会

平成19年第1回三豊市議会定例会は、3月2日から28日までの27日間の日程で開かれました。

今定例会においては、平成19年度一般会計・特別会計予算12件、副市長の定数を定める条例など36件及び補正予算12件を可決・承認し、意見書1件、三豊市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例など議員提出議案3件を可決しました。人事案件では議会選出監査委員の選任、人権擁護委員・農業委員の推薦及び教育委員会委員の任命に同意しました。



〔仮庁舎となる高瀬支所〕

初日には、市長より平成19年度施政方針演説が行われました。財政部局からは、平成19年度予算についての説明がありました。

今議会より、代表質問を七宝会、日本共産党が行いました。（代表質問は2名以上の会派が毎年3月議会で行う）

一般質問は、9日・12日の2日間にわたり10名の議員が行いました。

各議案の細部にわたる審査は付託された各常任委員会で、13日・15日に総務、14日・19日に建設経済、15日・19日・22日に教育民生の所管の事項について行われました。

28日の最終日には、所管の委員会に付託していた審議結果について、各委員長から全議案原案承認の報告があり、46議案を委員長報告どおり可決しました。追加提案された議員提出議案第3号「三豊市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例」（市役所の位置は豊中町本山甲二〇一番地一とするが、附則に

より庁舎が整備されるまでの間、仮庁舎の位置は現高瀬支所とするもの）については質疑・討論が行われ、条例案については、賛成21反対9で、地方自治法第4条第3項に定める3分の2以上を上回っており可決されました。

意見書「地方の道路整備財源の確保に関する意見書」を全会一致で可決しました。

議会選出監査委員の選任、人権擁護委員の推薦及び教育委員会委員の任命について同意しました。

- 〔監査委員〕
- ・三宅 静雄氏（議会選出）
- 〔人権擁護委員〕
- ・尾藤 一夫氏（山本町財田西）
- 〔教育委員会委員〕
- ・白杵 正明氏（高瀬町下勝間）
- ・武田 耕道氏（仁尾町家の浦）
- 〔農業委員会委員〕
- ・川北 善伴氏（議会推薦）
- ・城中 利文氏（議会推薦）
- ・近藤 賢司氏（議会推薦）

特別委員会委員長の改選

防災対策調査特別委員会

（新）委員長 横山 強

（3月27日付）

まちづくり調査特別委員会

（新）委員長 為広 員史

（3月26日付）

3月

議会日誌

22日 教育民生常任委員会

23日 先進地事例調査

26日 まちづくり調査特別委員会

27日 三観衛生組合議会

27日 議会運営委員会

28日 全員協議会

28日 防災対策調査特別委員会

28日 定例会

29日 議会運営委員会

29日 後期高齢者医療広域連合議会

4月

10日 学校組合議会臨時会

12日 教育民生常任委員会

13日 議会広報委員会

13日 全員協議会

16日 まちづくり調査特別委員会

17日 教育民生常任委員会視察研修

17日 議会広報委員会

三豊市議会だよりの発行・編集は

三豊市議会・議会広報委員会

〒769・1593 三豊市豊中町本山甲201・1 62・1135

平成19年第1回三豊市議会定例会 審議結果

市議会だより

議案番号	案 件	付託委員会	議決の結果
議案第16号	み と よ 未 来 技 術 基 金 条 例		原案可決(全会一致)
議案第17号-議案第27号	平成18年度三豊市一般会計、各特別会計及び各事業会計補正予算		原案可決(全会一致)
議案第28号	工 事 請 負 契 約 の 変 更 に つ い て		原案可決(全会一致)
議案第29号	三 豊 市 副 市 長 の 定 数 を 定 め る 条 例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第30号	三 豊 市 特 定 団 体 経 営 機 構 管 理 基 金 条 例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第31号	三 豊 市 行 政 改 革 推 進 委 員 会 設 置 条 例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第32号	三 豊 市 男 女 共 同 参 画 社 会 づ くり 推 進 協 議 会 設 置 条 例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第33号	三 豊 市 市 営 住 宅 入 居 者 選 考 委 員 会 条 例	建 設 経 済	原案可決(全会一致)
議案第34号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第35号	政治倫理の確立のための三豊市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第36号	三 豊 市 表 彰 条 例 の 一 部 を 改 正 す る 条 例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第37号	三 豊 市 職 員 の 給 与 に 関 す る 条 例 の 一 部 を 改 正 す る 条 例	総 務	原案可決(賛成多数)
議案第38号	三 豊 市 職 員 の 特 殊 勤 務 手 当 に 関 す る 条 例 の 一 部 を 改 正 す る 条 例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第39号	三 豊 市 職 員 の 育 児 休 業 に 関 す る 条 例 の 一 部 を 改 正 す る 条 例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第40号	三豊市公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第41号	三 豊 市 税 条 例 の 一 部 を 改 正 す る 条 例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第42号	三豊市高瀬町総合交流ターミナル施設条例の一部を改正する条例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第43号	三豊市産地形成促進施設条例の一部を改正する条例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第44号	たからだの里「環の湯」条例の一部を改正する条例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第45号	たからだの里「湯の谷荘」条例の一部を改正する条例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第46号	たからだの里「ふるさと伝承館」条例の一部を改正する条例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第47号	たからだの里「パークゴルフ場」条例の一部を改正する条例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第48号	三豊市弥谷山ふれあいの森公園条例の一部を改正する条例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第49号	三豊市粟島海洋記念公園条例の一部を改正する条例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第50号	三豊市国民健康保険条例の一部を改正する条例	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第51号	三豊市国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第52号	三豊市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	建 設 経 済	原案可決(全会一致)
議案第53号	三豊市急傾斜地崩壊防止対策事業負担金徴収条例の一部を改正する条例	建 設 経 済	原案可決(全会一致)
議案第54号	三豊市つたじま渡船に関する条例の一部を改正する条例	建 設 経 済	原案可決(全会一致)
議案第55号	三豊市中小企業小口融資条例の一部を改正する条例	建 設 経 済	原案可決(全会一致)
議案第56号	三豊市集会所設置条例の一部を改正する条例	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第57号	三豊市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第58号	三豊市職務執行者の給与等に関する条例を廃止する条例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第59号	三豊市詫間中央霊園管理基金条例を廃止する条例	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第60号	三豊市同和対策小規模事業融資条例を廃止する条例	建 設 経 済	原案可決(全会一致)
議案第61号	三豊市の設置に伴い失効することとなる合併前の山本町商品券取扱に関する条例及び財田町商品券取扱に関する条例の経過措置を定める条例を廃止する条例	建 設 経 済	原案可決(全会一致)
議案第62号	市 道 の 路 線 認 定 に つ い て	建 設 経 済	原案可決(全会一致)
議案第63号-議案第74号	平成19年度三豊市一般会計、各特別会計及び各事業会計予算	総務・建設経済・教育民生(関係部分)	原案可決(全会一致)【一般会計・病院事業会計のみ賛成多数】
議案第75号	平成18年度三豊市一般会計補正予算(第6号)		原案可決(全会一致)
議案第76号	三豊市監査委員の選任について(議会選出)		原案同意(全会一致)
議案第77号	人権擁護委員候補者の推薦について		原案同意(全会一致)
議案第78号	三豊市教育委員会委員の任命について		原案同意(全会一致)
議案第79号	三豊市教育委員会委員の任命について		原案同意(全会一致)
議員提出議案第1号	三豊市議会委員会条例の一部を改正する条例について		原案可決(全会一致)
議員提出議案第2号	三豊市議会会議規則の一部を改正する規則について		原案可決(全会一致)
議員提出議案第3号	三豊市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例について		原案可決(賛成多数)
意見書案第1号	地方の道路整備財源の確保に関する意見書について		原案可決(全会一致)

議決年月日 議案第16号～28号(平成19年3月2日) 議案第29号～意見書案第1号(3月28日)

代表質問及び一般質問

3月8日に各会派を代表して、香川努、近藤賢司（七宝会）・瀧本文子（日本共産党）の3名の議員が代表質問を行い、9日・12日には10名の議員が一般質問を行いました。

七宝会

19年度基本姿勢について

代表質問の主な内容

香川 努議員（七宝会）

基本姿勢・財政運営・行政改革・庁舎問題・三豊市土地開発公社・地域資源の活用・防災対策・環境行政・クリーンセンター

近藤賢司議員（七宝会）

寿工芸跡地周辺道路整備・市営住宅の改修計画・農林水産業の振興施策・三豊市の良さを再確認できる施策・後期高齢者医療制度・少子化対策・先手の福祉とコミュニケーションの関連・地域医療の充実

瀧本文子議員（日本共産党）

水道事業・原下工業団地・商業施設誘致・庁舎移転・男女共同参画事業・子育て支援

も今回は行う予定はない。合併特例債の活用は、世代間で共有する学校や道路など、市政発展のために必要。

庁舎問題について

質問 庁舎問題については、行財政改革調査特別委員会、総務常任委員会、全員協議会で議論した。現庁舎は、第2・第3庁舎の老朽化、分散した配置上の問題などがあり、高瀬の庁舎を仮庁舎とすべきとの結論になった。市長提案する考えは。

答弁 市役所建設は合併の意旨に逆行する路線であり、あり得ない選択である。既存施設の有効利用を図るのならば、本庁舎の在り方を早期に決定し、職員の仕事効率を上げ、市民サービスの向上を急ぐべきだとのことで、議会としての結論が出されたと考えている。議員提案で決定されたならば、実現に向けて精力的に努力したい。

財政運営について

質問 財政運営については、健全財政に向けての取り組みは合併の目指すところである。人件費の抑制と、合併特例債の活用は。

答弁 「合併して良いことがない」のではなく、「確実に市政は好転している」ということであり、旧町では出来なかった改革である。給与の一律カットは、この合併の混乱期を乗り切ってきた多くの職員に報いるために

土地開発公社について

質問 開発公社について、陣山工業団地高瀬工区の計画と、原下工業団地の現状は。

答弁 陣山工業団地については、現在、近隣に進出して企業からそれに併設して更なる工場の増設の意向が示されたので、鋭意検討し地元説明会をお願いしている。原下工業団地については、刑事面では公社の関係書類を県警察本部捜査2課に提供し、裏付け捜査が行われていると聞いている。民事面については、総額5,839万円余の損害補償請求等の訴えを、3月20日までに高松地方裁判所丸亀支部に起こす予定である。

クリーンセンターについて

質問 クリーンセンター問題は、巨額の財政負担を伴う。現在の炉はあと6年で契約が終わる。三観広域組合で協議中であるが、市長の考えは。

答弁 環境に対する市民の意識、地球温暖化問題の重要性も大きく変化している。ゴミ処理施設の技術的進歩も顕著なものがある。早急に結論を出していきたい。

寿工芸跡地周辺、三豊市の基幹道路整備に向けて

質問 寿工芸跡地に隣接する豊中市市計画道路、笠田本山線の国道11号線拡幅工事の着手と、その周辺の県道・市道・生活道整備についての考えは。

答弁 国道11号線4車線化の拡幅工事につきましては、豊中町笠田笠岡南から、観音寺市本大町井出北までの4・6キロメートルの都市計画決定が本年3月にされました。県道本山停車場線・羽方豊中線で計画しております823メートルの改良計画は、平成20年度に完了の予定。市道市道線改良事業、交差点までの事業は平成19年度完了予定。



〔県道本山停車場線〕

市営住宅管理事業について

質問 安全で快適な生活を支える、定住基盤充実のまちづくりの中で、市営住宅の老朽化に対する整備及び改修計画は、長期の計画として実施されるのか。

答弁 新たな供給は行わず、高齢者・障害者等に対応した住環境の整備や、安全・安心・快適な生活基盤、入居者の適正化による的確な供給、老朽住宅の整備改修に努める。

農林水産業の振興施策は

質問 中山間地域等直接支払制度及び漁港改修事業の内容と進捗状況、今後の計画は。

答弁 中山間地域等直接支払制度として、高齢化が進展する中実施していた高瀬町・財田町に加えて、平成18年度に仁尾町、平成19年度に山本町が実施予定である。

漁港改修事業については、単独県費補助事業・高潮等対策整備として、一日も早い完了に努力する。

日本共産党

大型商業施設 交通渋滞・通学路対策は

質問 六ノ坪交差点の交通渋滞対策と周辺の道路整備、特に小中学生の通学路となる歩道設置対策は。商業施設閉鎖の事態に備え、一定期間の予告・事前協議・代替措置など協議の必要性あり。周辺商店街（高瀬等）の空洞化対策は。



〔中山間地域等直接支払制度(財田町)〕

地域医療の充実について

質問 市立病院と民間医療機関との役割分担や連携と、地域医療の充実について伺う。

答弁 今後、市の医療機関のあり方・方向性について検討会を新たに設置して、医療・保健・福祉行政を担う市立の地域拠点病院として、適切な医療等のサービスを提供するには、地域の民間医療機関との役割分担と連携が必要不可欠である。



〔国道11号六ノ坪交差点付近〕

ないか。ゆめタウン進出は新しいビジネスチャンスととらえ、地域全体の底上げを期待する。

庁舎移転の条例改正 計画性の欠如・住民サービス低下

質問 豊中町から高瀬町に実質移転するもので、議員提案となつてはいるが、市の最重要事項であり執行部提案とするべき。計画性の欠如と住民説明の不十分さ。移転後、会議室の不足・すし詰め状態・庁舎機能の分散化・駐車場対応など、現状（豊中庁舎）と変わらない状況で移転の意味がない。移転費2億円に加え駐車場整備の財源は。また、移転に10カ月かかるが、住民サービス低下の対応策は。

答弁 行革のスピードを上げるための議員提案と考える。将来的に高瀬庁舎に全職員が入れる規模になる。移転費用は合併支援金を活用。駐車場は近辺市有地を利用し、370台分確保する。

原下工業団地 責任の所在を明確に

質問 原下工業団地の造成事

業をめぐる、旧高瀬町土地開発公社で5,800万円余の使途不明金が発覚。その後の経緯は。また、何も知らず合併した町としてやりきれない気持ち。不明金について、旧高瀬町議会・理事会の責任をきちんと整理する必要あり。情報公開して、市民に説明責任を果すこと。

豊中町水道水 水質対策と料金は

答弁 民事・刑事両面で提訴を準備中であり、真実の解明と市民への説明が第一である。市民の血税が機関決定なく使われたわけだから、徹底してそのお金は返していただく。

質問 豊中町水道水の水質改善の必要性と対策は。県内8市中一番高い水道料金の見直し、豊中町との料金格差の問題への対応。出来るだけ安い水の供給を基本に検討を。

答弁 19年度クリプト対策として、ろ過処理施設を設置予定。出来る限り料金を下げる方向で、料金統一をはかりたい。未対応の財田町も検討・計画をすすめる。

三豊市合併一周年
記念イベントについて

横山 強 議員

質問 合併記念イベント計画が、19年度の予算に盛り込まれているのか。

答弁 予算化はしていない。

質問 市は19年度に合併一周年記念イベントを、開催する意思はあるのか。

答弁 「三豊市合併一周年記念」と冠をつけたイベント各種行事については、市の主催する行事・催し物、また関連する各部門において、今後も積極的に取り組みたい。

質問 記念イベントを開催する場合の開催時期を伺う。

答弁 個々の施設において、若干の冠事業を予定しているなかで、マリンウエーブで芸能文化面の催し物を予定しているが、一周年記念イベントについては、市民側から何らかの御提案等があれば、今後の進展も見ながら考えたい。

質問 全町民が参加出来るスポーツ祭を開催しては。

答弁 市民から動きが起ることを期待し1年間見守りたい。

三豊市の「理想的な火葬場」のあり方は

小林昭武 議員

質問 山本財田斎場に2炉、豊中斎場2炉、香田火葬場2炉、七宝斎苑に3炉、高瀬火葬場が3炉と、計5カ所12炉に対する管理運営実態を尋ねる。

答弁 年間実績は、高瀬が193回、豊中122回、香田207回を委託管理とし、1体当りの火葬経費は約4万8千円、また七宝が193回、山本財田167回を直営管理とし、1体当たり約6万5千円の経費が掛かっている。

質問 今後へ向けて、地域性・利便性・経済性・立地条件等から判断する、理想的な火葬場のあり方を尋ねる。

答弁 火葬場利用者側の選択を柔軟に対応出来るよう努力すると共に、単に老朽化建物を建て替えるだけではなく、将来的には、三豊市を1カ所統一が出来るような、合併特例債を利用した大規模火葬場建設が理想と考える。

消防分署の統廃合について

為広員史 議員

質問 烏インフルエンザの人の感染防止策について伺う。

答弁 人への感染経路については、病気の鳥と接触して、羽や粉末状になった糞を吸い込んだり、その鳥の糞や内臓に触れた手を介して鼻からウイルスが入った時に感染する時がある。本市でも、県において87施設の全養鶏農家に対し立入り検査を実施し、安全を確認した。

質問 三観広域消防署の統廃合をどのように考えているか。

答弁 消防署・分署の整備計画は今のところ未定ではあるが、今後整備するのであれば、消防署・分署の位置については検討の必要があると考える。素案の素案として、現在の5カ所を観音寺市に1カ所、三豊市に2カ所にする案が検討されている。

質問 いかに厳しい財政下であっても、消防・救急の観点から現在の5カ所体制を厳守するべきだと思つ。

遊休施設について

城中利文 議員

質問 施政方針中「公共施設は、全体的に利用率が低く、その数も有り余っている」とあるが、今後の利活用の基本的姿勢を伺いたい。

答弁 民間活力を導入したいが、このご時世において簡単ではない。もう少し時間をかけて検討したい。

質問 支所における遊休スペースの利活用の考え方は。

答弁 本市のあり方を決める重要案件である。具体的なものはまだ無いが、支所も含め市内の施設はすべて市民のものであるとの共通の意識を強めていくことが今後遊休施設の利活用にとって欠かせない。

質問 旧仁尾町の元国民宿舎「つたじま荘」の今後の利活用について伺いたい。

答弁 仁尾地区は観光資源では三豊市一のものをもっていると思うが、直接宿泊施設に結びつくにはたやすくはない。大きな観光政策の中で市民皆様方と議論し検討したい。

入札制度について

詫間政司 議員

質問 福島、和歌山、宮崎県等で発覚した談合事件で、地方自治体発注の公共工事に対する入札制度の大幅な見直しが進められている。この現状の中で、2点質問する。

下高瀬小学校に関する他工事の落札率が80%前後にもかかわらず、機械設備工事のそれが99.63%の結果をいかがお考えか。

入札制度の現状と今後の方向性をいかがお考えか。

答弁 下高瀬小学校機械設備工事の入札は、規則に基づき適性に執行されたと認識しているが、合併から1年間経過し色々な問題点が露出ししていると素直に反省している。

今後、透明性と競争性を確保した適正な入札・契約事務を執行すべく「三豊市入札制度改革案」を新しく策定し、改善を図ってゆく。

19年度からしっかりと改革案で、他市にも決して負けない形を作って行きたい。

地産地消と三豊産の
ブランド作りと水道行政

川崎秀男 議員

質問 松下寿跡地の大型商業施設「ゆめタウン三豊」の出店に伴う諸問題の窓口と、企業との共存するための農産品の三豊産ブランド作りをどう考えているのか。

答弁 「ゆめタウン三豊」における地産地消、また「ゆめタウン」70店舗をネットワークとした三豊市の産物を販売したり、情報発信する地産域消という考え方を進めたい。

質問 三豊市の水道経営について、10力年の水道基本計画策定の中で主な問題点とその基本的な柱を何に置き、どうしようとしているのか。また漏水対策について伺いたい。

答弁 水道事業の目的は「安全で豊富な水を安く供給すること」なので、合併後1年間のデータをもとに、10力年間の見据えた「水道事業計画」を作成中である。

漏水対策は、県内8市の状況を調べ、調整・検討を加えていきたい。

行政改革を進める上での
「これまで」の説明責任

大平敏弘 議員

質問 節約・改善の発想を超え、「これまで」という意識を打ち切り、「これから」を考えたいと言われても、市民は釈然としないのではないか。これまでの説明責任の機会を、国会議員を交えて、もつべきと思うが。

答弁 横並び主義・先送り主義・日和見主義、いわゆるお役所体質・お役人根性の「これまで」を断ち、「市民の幸せのために」というただ一点のみを考え、突き詰めていく「これから」を作る職員の意識改革がもっとも重要である。「これから」を具体的に進めていく上で、「これまで」を検証したい。

国会議員については要請してみたい。

児童保育のあり方

質問 三豊市児童保育の創造を。

答弁 既に動き始めた創造の動きを受け止め、より良く進めたい。

駐車場用地の確保について

藤田芳広 議員

質問 松下寿工芸跡地売却が決定し、職員駐車場の確保は今後どのように計画しているのか。代替地を検討中ならば、具体的な内容をお聞きしたい。

答弁 代替地は市役所南側に4,500㎡を借地し150台分の駐車場を造成する。地代は年間120万円程度とし、1年契約の自動更新とする。現在の本庁・支所としては最大300台分が必要であるが、今後の職員配置の状況を勘案し増加検討をする。

質問 職員駐車場は現在も使用料は徴収していないが、今後その方針は変わらないのか。行財政改革推進の中で、昨年9月議会で市長は職員の意識改革と受益者負担の観点などで、徴収に向け早期に検討する旨回答あるも再度伺う。

答弁 駐車場使用料負担の問題は、各支所及びその他施設とのバランスと県内他市の状況を見て総合的に判断し結論を出したい。

市民大多数が批判する市行政改革大綱を創った人とは

三木秀樹 議員

質問 三豊市行政改革大綱に80%の市民が批判のコメントを寄せている。その大綱等を作成した中心メンバーである学識経験者と言われる会社役員等は、どのような専門知識をもっているのか。

答弁 企業改革や組織改革にたずさわり、三豊市の進むべき筋道の提言を受けている。

質問 委員会での学識経験者の発言は問題だ。学校統廃合討議で、教育長が「小中学校は地域の避難場所。耐震補強をまず行う。統廃合は、子供の理想をふまえて検討委員会に諮る」と対し、彼らは「子供の理想を議論しても答えは永遠に出来ない。統廃合するのになぜ耐震補強するのか、無駄ではないか。統廃合問題は、20年度末で結論を出し、21年実施」と高慢・強権である。市長の考えは。

答弁 高い理想をかかげ心強い励ましの言葉と理解する。他に4問、質問しました。

市政は住民こそ
主人公の視点で

岩田秀樹 議員

質問 4月実施の全国学力テスト、試験問題と「質問紙」を配布し、通塾状況・生活習慣など92項目を聞くのは、個人情報保護の観点や文部科学省の調査目的であれば、無記名でよいのでは。

答弁 教育委員会として参加を決定した。質問紙の内容は生活環境との関係係で結果を判断するために、名前を記入するようにとの判断である。

質問 総世帯の59%が加入している国民健康保険は、定率減税の廃止など見せ掛けの所得増により、国保税が値上がりになっていく。税制改正による自然増収は低所得者対策としての減税・減免を実施すべきであると考え。

答弁 市は低所得者への負担の過重を避け、7割5,310世帯)5割(780世帯)2割(1,690世帯)減免を行っている。